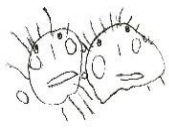


いっぽ だより



はじめのいっぽ

2020年11月30日

師走も間近となり、気ぜわしい時期となりましたが、皆様にはお変わりありませんか。

テレビのスイッチを入れるたびに、新型コロナウイルス感染症ニュースにハラハラドキドキする日々ですが、最善の対策で（11月16日発行させて頂いた対策を記したお便り）危機を乗り越えようと職員心をひとつに取り組んでおりますのでご安心下さい。

暗いニュースの多い中、つい先日一通の手紙が届きました。約30年前の教え子のお母さんからのお便りでした。当時2歳だったS君が、なんと去年の国際ラグビーワールドカップの入場曲の編曲をしたこと、ジャニーズの舞台曲に携わっていることなどを知り驚くと同時に、幼い頃の記憶が蘇り保育所の玄関で「わかちゃんとかえる～」と、いつも泣いていたS君が現在は、東京にて音楽家として活躍しお母さんの元に「わかちゃん、仕事頑張っているね～」とホームページを閲覧し気にかけているとの事。

遠く離れていても“はじめのいっぽ”を応援している人がいることを知り、嬉しくて今後も目の前の子どもたちとしっかり向き合い“保育士人生を全うして良かった!!”と仕事に誇りを持ちながら、前向きに生きようと決意する一日となりました。

また、自分自身の人生を振り返った時、20代独学で保育士資格(当時保母)を取得、3人の子ども達を育てながら働き続けた日々、様々な試練を乗り越えたから現在の“はじめのいっぽ”が設立できたこと・・・一人では何も出来ないけれど夢と希望、熱意があればたくさんの方々が応援してくれることを知りました。



お誕生会では、「将来の夢は？」と必ず質問されます。“ゆっくり”“じっくり”で良いから、将来の夢に向かって、一歩、いっぽ歩んでほしい。

生まれたときは、みんな平等に“はだかんぼ”、日々の積み重ね努力が大きな夢の実現につながるとS君を通じあらためて感じています。

さあ～新年も近い!!

夢と希望、熱意を持って前に進もう!!



療育とは？

改めて**療育**とは何か、定義を検索してみました。

「療育」とは、社会的に自立できるようにするために行う治療、教育の事です・・・
ウーンわかるけど、いつも教えこまれるとチョット辛いなあ～。 自分らしさを発揮、認められ、褒められることで自信を持って次へのステップを踏めるよね」・・・等々
高学年中心に話し合いました。 さて、いっばでの療育の一コマを紹介します。

雑巾がけレース!!

夕方の結では、毎日お掃除をしています。

整理整頓はもちろん、弥生の玄関掃除を含め“ありがとう”の心地よい響きを感じ取りながら、働く喜びを楽しんでいます。

そんな中、ぞうきんがけをピックアップしてみたいと思います。



図のように雑巾がけで、さまざまな力が育ち
全身運動となり土踏まず形成にも良いそうです。

夕方の集団あそび

♪G○G○ジャンケン列車・・・♪ 最後は一つの輪になり年齢問わず大盛り上がりの
だご味は格別です。遊びながら「アレ？アラ？ジャンケンできない子がいる」と知り
ジャンケン大会に発展。

大きなペープサートを作り

♪やきいも、やきいも、おなかが グ～♪

♪ホッカホッカ アッチキの チ～♪

♪食べたらなくなるなんにもにも パ～♪

教えこむのではなく、遊びの中で無理なく
楽しく獲得!!することに重点を置いています。



ピアノの練習がんばってま～す。



土曜日の午後、高学年中心に
「♪YMCA」「♪エリーゼの
ために」「♪紅蓮華」などなど
自分の好きな曲を、かわせひろ
み先生の指導のもと張り切って
練習。“やりなさい”と指示され
ると嫌だけど、自ら挑戦すると楽
しいね!!



新型コロナウイルス感染症の影響により、各種活動を自粛・中止せざる負えない状況が続
いております。保護者の皆様にもご理解ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

幼児さんの療育内容

入所当時

言葉が思うように出ない!!

偏食が多く、座って食べられない!!

友達とあそぶことができない!!・・・等々
数えきれない程の悩み不安があったかと思います。

数か月が過ぎた現在

友だちどうし手をつなぎ、玄関先へ・・・

「オハヨー」と挨拶したり、友だちを迎えに行ったりとにぎやかな日々が続き幼いながら仲間意識が芽生えていると、ほほえましく見えています。



室外活動では、大人ではなく友達と一緒に手をつなぎお散歩が出来、目的地まで“ワァワァ、ギァギァ”一人ひとりの個性を発揮し発散しています。

室内では、今までみんなと座って制作や絵画活動が出来なかったお友だちでしたが気付けば8人みんな粘土遊び、約30分も夢中になり集中してできたとスタッフたちも驚きの声。

“教え込む”のではなく遊びの中から言葉や数の概念、識別を確認していると実感すると同時に、仲間がいるから模倣ができ成長していると感じている日々です。

春、おおきな集団（幼稚園、保育園）へ移動する幼児さん。後、数か月なかまと共に自信を持って小さな社会にとび立つよう願うばかりです。

